



本町の教育指標：「進取の気象」「国際性」「社会貢献」

嘉手納町 教育委員会だより

令和6年7月発行 嘉手納町教育委員会



「1人1台パソコン端末」を普段使いする風景の始まり！

7月4日、嘉手納町リーディングDXスクール（嘉手納中学校）の第1回公開授業及び公開研究会がありました。本研究会には、県内外から247名の先生方が参加しました。以下に、その時の授業や研究会の様子を紹介します。



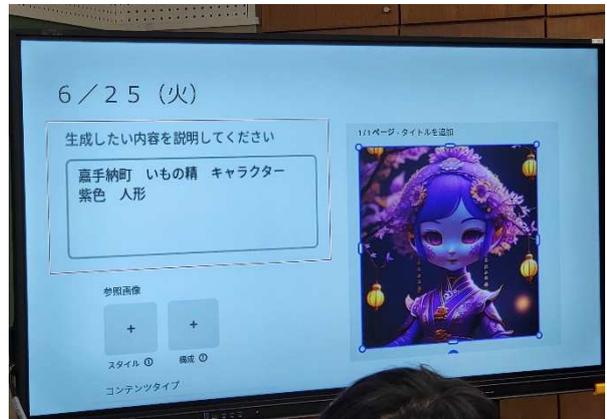
国語：疎開した父の気持ちを考える！



英語：Tina にメールの返事を送るなら？



集めた情報を整理・分析する生徒



生成 AI によるキャラクターづくり



生徒全員の学習状況がわかるモニター



小中の先生方による意見交流

自分でできる子に育つ褒め方・叱り方！

家庭でも教育現場でも、子どもの褒め方・叱り方というのは難しく、悩ましいものです。どうやって子どもを褒めているのか、あるいは叱っているのか、意識して考えたことはありますか。実は、「褒める」「叱る」の声のかけ方次第で、親子関係や子どもの育ちに大きな影響が見られます。日本人に多いとされる「自己肯定感」の低い子どもは、謙遜文化による「褒め不足」が原因ではなく、「非効率な褒め方や叱り方」が原因なのかも知れないのです。

●子どもが育つ「声かけ」NG/OK

【褒める編】



すごい！えらいね！
さすが〇〇ちゃんだね！

おざなり・人中心



「おざなり」「人中心」の褒め方は、具体性に欠け、性格・能力・外見などの表面的な褒め方。一見よさそうですが、子どもが褒められることに依存した行動をとるようになり、それ以外のことに興味を失ったり、チャレンジしなくなる可能性があります。



練習をコツコツ続けて
がんばったね！

プロセス中心



結果や能力、性格を讃えるのではなく、取り組んでいる過程（プロセス）での努力や挑戦した姿勢や、やり方を工夫した点などに触れ、励ましてあげます。子どもは、たとえ成果が伴わない場合も、いろいろなやり方を試して柔軟に挑戦し続けることができます。



△△するとき、
一つずつ丁寧にしていたね！

もっと具体的に



「すごい」「いいね」ではなく、もっと具体的に過程（プロセス）に触れます。色・形・数などを見たまま表現するのもOK。具体的なフィードバックによって、自分が優れていること、努力が必要なところがわかります。子どものモチベーションは自然に上がります。



どこがいちばん大変だった？

自由回答式の質問



会話のキャッチボールができるような自由回答式の質問をします。大切なのは、親がどう思ったかという評価を押し付けるのではなく、子ども自身がどう感じたか。うれしいこと・達成したことについて会話し、共有するだけで十分です。

【叱る編】



人中心

何て悪い子なの！
どうしてできないの？



まず、子どもが何をしたかったのか、何を言いたかったのか理解し、肯定の言葉から始めます。結果に至るまでの努力ややり方（ときにはその未熟さ）を具体的にフィードバックし、どうすればよいか一緒に考え、次回の成功へと導きます。



プロセス中心

△△したかったんだね。
どうすればできるか
一緒に考えてみようか



自分がとった行動が、子ども自身や他の人にどんな影響を与えるか、具体的に説明します。また、「お友だちを叩いたりすると、ママは悲しいよ」などと親の気持ちを正直に伝えるもの、効果的です。



理由説明

急に△△すると、
××しちゃうかもしれないから、
〇〇しようね



「人中心」の叱り方は、子どもの性格、能力、外見の欠点や短所を責める批判です。性格や能力を批判されると、自分にはどうせできないという無力感を覚えるようになり、次に挑戦し、成功しようという意欲をなくしてしまいがちです。

令和7年度以降の中学校の使用教科書が決まりました！

7月25日、嘉手納町定例教育委員会会議において、令和7年度以降使用中学校教科用図書が以下のように採択されました。

NO	種目	発行者名	NO	種目	発行者名
1	国語	三省堂	9	音楽	教育芸術社
2	書写	三省堂	10	音楽（器楽）	教育芸術社
3	社会（地理）	帝国書院	11	美術	光村図書
4	社会（歴史）	帝国書院	12	保体	東京書籍
5	社会（公民）	帝国書院	13	技術	開隆堂
6	社会（地図）	帝国書院	14	家庭	東京書籍
7	数学	東京書籍	15	英語	光村図書
8	理科	東京書籍	16	道徳	日本文教出版

自分の英語スキルの向上を目指して



7月11日、第26回嘉手納町英語コンテストが中央公民館で行われました。コンテストでは、町内の小中学生から選抜された小学生10名、中学生5名の児童生徒が、流暢な英語力と個性豊かな表現力で賞を競い合いました。今年度の野國總管賞（グランプリ）は、嘉手納中学校2年の上地あてなさんが受賞しました。

本コンテストには、宮川学外務省沖縄大使とローラ・ラモス第18任務支援群司令官も出席され、審査員とプレゼンターを務めていただきました。

<小学校部門>

- 金賞：金城 依愛（屋良小6年）
- 銀賞：稲嶺 壱盛（屋良小6年）
- 奨励賞：金城 有杏（嘉手納小6年）
- 特別賞：与那覇美晴（嘉手納小6年）

<中学校部門>

- 野國總管賞：上地あてな（嘉手納中2年）
- 金賞：上田 天音（嘉手納中3年）



「度胸」と「しなやかさ」でMy Englishを鍛える！



7月21日、ハワイ短期留学派遣事業出発式がありました。今回の留学では、中学生6名、高校生4名が派遣されることになりました。この留学を成功させるためには、英語を間違えたり、通じないことを恐れずどんどん話していく「度胸」と、そして、英語を間違えたり通じなかったときに対応できる「しなやかさ」をもつことが大切です。2週間という短い期間ではありますが、自分の英語力（My English）に磨きをかけて、戻ってくることを楽しみにしています。

「しまくとぅば」消滅の危機！？



7月27日、嘉手納町しまくとぅば語やびら大会が中央公民館で行われました。本大会は、「しまくとぅば」の衰退が心配されるなか、後世に伝えていくために、その普及活動の一環として取り組まれています。

今回の大会では、2組が参加し、流暢な「しまくとぅば」を披露してくれました。審査の結果は以下のとおり。

- 最優秀賞：照屋 若菜（嘉手納小5年）
- 德里 芽蓮（屋良小4年）
- 優秀賞：知花 陽太（八州学園高校3年）